

# マイセルフ

HAKODATE

男女共同参画情報誌

2017・春 VOL. 57



## もくじ

特集	
★男女共同参画に関する市民・事業者意識調査	1～3
★函館市女性センター・新規事業のお知らせ 「話そう!『ホッとたいむ』」「東川リビング」「函女プロジェクト」	4
はこだて男女共同参画フォーラム2016	
★「小宮山洋子講演会」報告 & 「次年度予告」	5
フォーラム30周年記念	
★「はこだて男女共同参画ウィーク」報告	6
★各種相談窓口一覧	
★函館市からのお知らせ ★Hakodateかがやきネット	裏表紙
★函館市女性センターからのお知らせ 講座案内 / おすすめ本 / 「ハツラツ!サークル」	1～5 下段

【写真 / そば打ち体験(函館市東川母親クラブ)】解説はP1をご覧ください。

〈特集〉男女共同参画に関する ～結果をとりまとめました～

# 市民・事業者意識調査



『男女がともに輝く豊かなまち』を目指して…

市では、平成 20 年に「第 2 次函館市男女共同参画基本計画」を策定し、その基本目標のもと、様々な施策を推進しています。このたび、「男女共同参画社会」の実現に向けての課題の把握および、次期計画の基礎資料ともするため「男女共同参画に関する市民・事業者意識調査」を行い、調査結果を報告書にとりまとめましたので、その主な内容について紹介します。

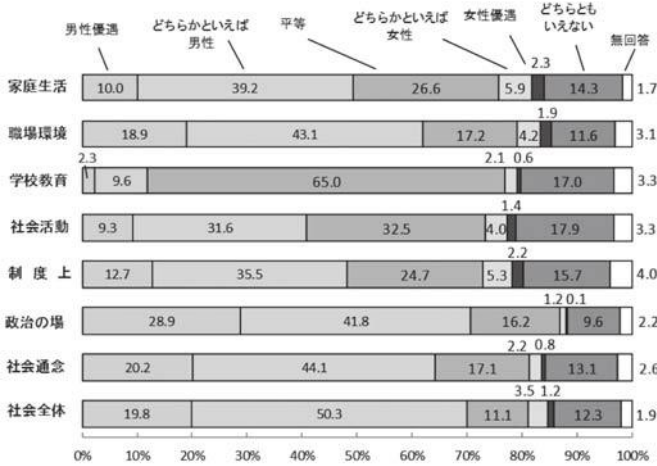
※「市民・事業者意識調査」の報告書については、市のホームページからご覧いただけます。

**市民意識調査** ◆調査対象：市内に住居登録のある 20 歳以上の男女 2,000 人（男女各 1,000 人） ◆抽出方法：住民基本台帳に基づく層化無作為抽出（男女別・年齢別） ◆調査方法：郵送配布、郵送回収 ◆調査期間：平成 28 年 8 月 1 日～8 月 31 日 ◆回収率：38.9%（778 人）【女性 432 人、男性 326 人、性別無回答 20 人】

## 男女平等に関する価値観について

Q 男女の地位はそれぞれ平等になっていると思いますか？

（家庭生活・職場環境・学校教育・社会活動・制度上・政治の場・社会通念・社会全体）



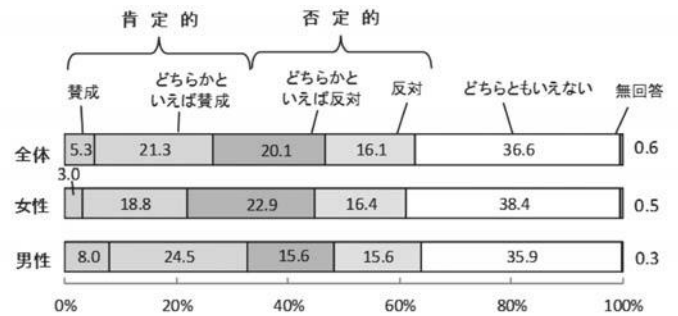
各分野の中で『平等になっている』と回答した割合が最も高いのは、「学校教育」の分野で **65.0%** でした。

それ以外の項目では、『男性優遇』と『どちらかといえば男性』を合わせた**“男性優遇”**が『平等になっている』を上回っています。

●前回（平成 23 年度）調査で「平等になっている」と回答した割合が最も高かった「学校教育」の 62.3% を上回っています。

## 男女の役割分担について

Q 男は仕事、女は家庭という考えがありますが、あなたはどう思いますか？



「男は仕事、女は家庭」という性別役割分業意識について、肯定的意見 **26.6%**、否定的意見 **36.2%**、どちらともいえない **36.6%** でした。

●前回調査では、肯定的意見 33.9%、否定的意見 31.8% であり、意識改善の傾向にあります。



## 〈表紙写真について〉

表紙は、函館市女性センターの利用登録団体「函館市東川母親クラブ」が、調理実習室でそば打ち体験をした時の写真です。

函館市東川母親クラブは、東川児童館のボランティア団体で、地域住民の方々や児童の父母の方々が、青少年の健全育成等の活動をおこなっています。

年間行事には、児童館まつり、もちつき大会等があり、東川児童館や女性センターの調理実習室を利用して活発に活動を行なっています。

## 函館市女性センターからの お知らせ



### 函館市女性センター

〒040-0042 函館市東川町11番12号

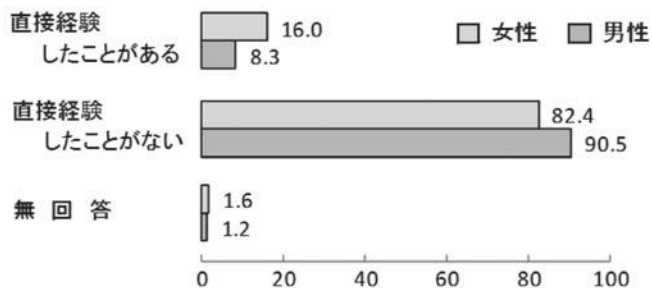
〈電話〉0138-23-4188 〈FAX〉0138-23-4189

開館時間／9:00～21:00 休館日／日・祝日・年末年始（12.29～1.3）

●ホームページをごらんください 函館市女性センター

## 男女の人権について

Q ドメスティック・バイオレンス (DV) が問題となっていますが、このことについて、あなたは直接経験したことがありますか？

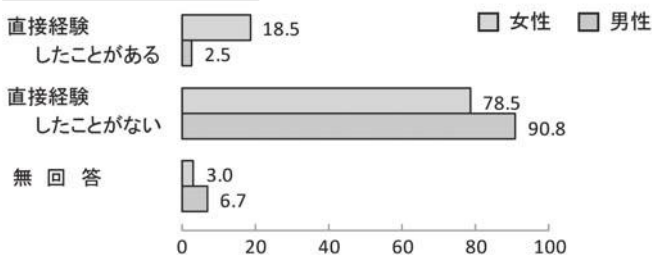


DVを『直接経験したことがある』女性は**16.0%**、男性は**8.3%**です。女性は、**約6人に1人**が暴力の被害などの経験があるといえます。

●前回調査では、女性 15.1%、男性 6.6%であり、男女共に増加しています。

Q 以下のようなハラスメントを、あなたは直接経験したことがありますか？

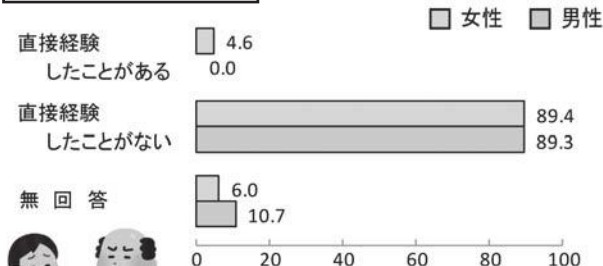
### セクシャル・ハラスメント



セクシャル・ハラスメントを『直接経験したことがある』女性は**18.5%**、男性は**2.5%**でした。

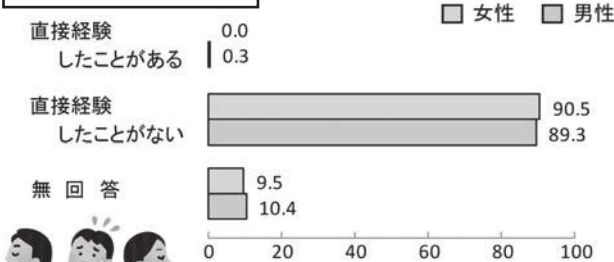
●前回調査では、女性 13.9%、男性 1.3%で、男女共に増加しています。

### マタニティ・ハラスメント



マタニティ・ハラスメントを『直接経験したことがある』女性は**4.6%**でした。

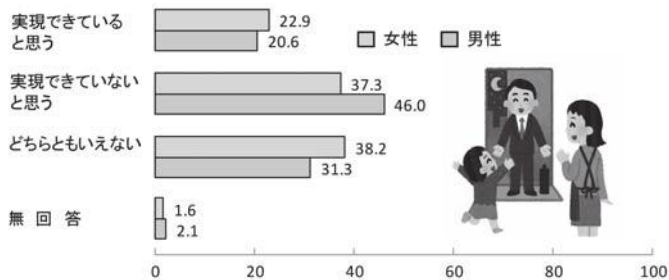
### パタニティ・ハラスメント



パタニティ・ハラスメントを『直接経験したことがある』男性は**0.3%**でした。

## ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について

Q 「ワーク・ライフ・バランス」とは老若男女誰でもが、自ら希望するありかたで、仕事と家庭など様々な活動をバランスよく生活できることなのですが、あなたは「ワーク・ライフ・バランス」を実現出来ていると思いますか？



ワーク・ライフ・バランスを『実現できていると思う』女性は**22.9%**、男性は**20.6%**でした。

● = 学習講座 ●文 = 文化・教養講座 ●料 = 料理教室 ●相 = 相談関連 ●自 = 自主事業

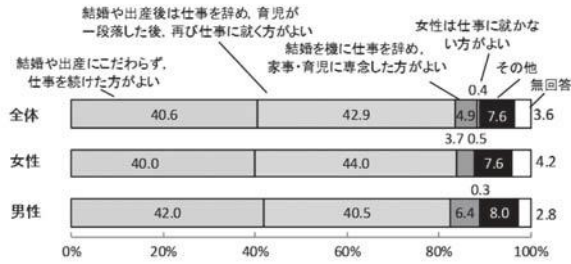
開催月	講座・教室名等	実施予定日・時間・(回数)	対象・定員	受講料等	受付開始日時
4月	●文 身体の機能改善に! 女性のための「ボディメイク」	4月10・17日(月) 18:30~19:30(連続2回)	女性10名	無料	3月10日(金) 10:00~
	●学 便利な機器を上手に使うため IT・スマホ初心者講座	4月25日(火) (午前の部・午後の部) 10:00~12:00 / 13:30~15:30	各男女20名	無料	3月17日(金) 10:00~
5月	●学 潤滑な人付き合いのための コミュニケーション講座	5月12・19・26日・6月2日(金) 18:30~20:00(連続4回)	男女50名	無料	4月14日(金) 10:00~
	●文 函館山の魅力を体感する 山あるき探検隊①	5月13日(土) 10:00~12:30(全1回)	男女20名	無料	4月4日(火) 10:00~
	●料 力を合わせてお料理しよう! パパとクッキング	5月13日(土) 13:30~15:30(全1回)	小学生と男性保護者 12組24名	材料費700円	4月7日(金) 10:00~
6月	●相 女性の精神科医による 女性のためのこころとからだの相談	6月7日(水) 14:00~16:00(1人30分)	女性4名	無料	5月2日(火) 10:00~

※ マークの講座は、「HAKODATEまなびと広場」対象の講座です。

次頁に続きます→

## 男女の就業について

Q 女性が仕事をもつことについて、あなたはどのように思いますか？



女性が仕事をもつことについて、最も多かったのは、『結婚や出産後は仕事を辞め、育児が一段落した後、再び仕事に就くのがよいと思う』で**42.9%**（全体）でした。

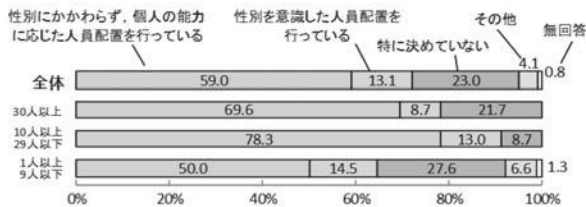
●前回調査では同回答は45.0%、『仕事を続けた方がよい』は34.5%であり、仕事継続へと考え方が移行しています。



**事業者意識調査** ◆調査対象：市内に所在する300事業所 ◆抽出方法：層化無作為抽出（従業員規模別、平成26年経済センサス基礎調査より） ◆調査方法：郵送配布、郵送回収 ◆調査期間：平成28年8月22日～9月9日 ◆回収率：40.7%（122件）【従業員規模30人以上22件、10～29人23件、1～9人76件、規模無回答1件】

## 女性従業員の活用について

Q どのような考えに基づき、女性従業員を配置していますか？



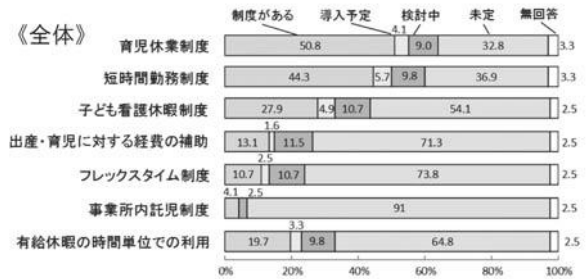
『性別にかかわらず個人の能力に応じた人員配置を行っている』という事業者が最も多く、**59.0%**（全体）でした。

●前回調査で最も多かった同回答の48.0%を上回っています。



## 育児や介護に関する制度について

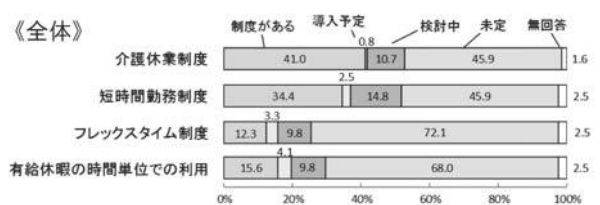
Q 育児を行う従業員を支援するために、どのような制度を設けていますか？



支援制度として最も多いのは、『育児休業制度』で50.8%、導入予定を含めると**54.9%**でした。

●前回調査で最も多かった同回答の49.6%を上回っています。

Q 家族等の介護を行う従業員を支援するために、どのような制度を設けていますか？



支援制度として最も多いのは、『介護休業制度』で41.0%、導入予定を含めると**41.8%**でした。

●前回調査で最も多かった同回答の29.1%を上回っています。

※どちらも『休暇制度』の導入により、支援を行う事業所の割合が高いことが分かります。

◆ 市民・事業者意識調査にご協力いただきました皆様に、心よりお礼申し上げます。 ◆

函館市女性センターからのお知らせ

開催月	講座・教室名等	実施予定日・時間・回数	対象・定員	受講料等	受付開始日時
6月	文 日本の文化を体験する <b>はじめての絵手紙教室</b>	6月9・16日(金) 13:30~15:30(連続2回)	男女20名	材料費500円	5月9日(火) 10:00~
	学 就職のための <b>パソコン「ワード」8回コース</b>	6月9日~7月28日(毎金) 18:30~20:00(連続8回)	求職者 男女6名(抽選)	無料	5月12日(金)のみ 10:00~17:00
	文 函館山の魅力を体験する <b>山あるき探検隊②</b>	6月24日(土) 10:00~14:00(全1回)	男女20名	無料	5月26日(金) 10:00~
7月	料 家族の健康のために <b>からだに優しい料理教室①</b>	7月6日(木) 10:00~12:00(全1回)	男女24名	材料費1,200円	6月9日(金) 10:00~
	学 子育て支援パパママ講座 <b>心理士に学ぶ効果的な声掛け</b>	7月15日(土) 13:30~15:30(全1回)	男女50名	無料	6月16日(金) 10:00~
8月	文 夏休み・親子でチャレンジ <b>食品サンプル教室</b>	8月7日(月) 10:00~12:00(全1回)	小学生と保護者 10組20名	材料費 1組500円	7月7日(金) 10:00~

# 函館市女性センター・新規事業のお知らせ

## 同じ悩みを持つ者同士 話そう!「ホッとたいむ」



DVの後遺症や離婚の問題を参加者同士で話し合う、プライバシーが守られた場です。専門家を囲んで語り合うことにより、心が整理されたり問題解決につながることも。どうぞお気軽にお申込みください。

●開催日／毎月第2月曜日 13:30～14:30  
(※開館日等の都合により例外あり)

- 4月10日 (3月14日受付開始)
- 5月8日 (4月11日受付開始)
- 6月12日 (5月9日受付開始)
- 7月10日 (6月13日受付開始)
- 8月14日 (7月11日受付開始)
- 9月11日 (8月15日受付開始)
- 10月2日 (9月12日受付開始)
- 11月13日 (10月3日受付開始)
- 12月11日 (11月14日受付開始)
- 1月15日 (12月12日受付開始)
- 2月5日 (1月16日受付開始)
- 3月12日 (2月6日受付開始)

これまで実施していた「オープンハート『離婚とDVの話』」をリニューアル。お気軽にご参加ください!

月に一度の昼食会

## 東川リビング

大勢でにぎやかに食卓を囲みましょう!



一人暮らしの高齢者の方や子育て中のお母さんなど、普段一人で食事をする機会が多い人のために、月に一度集まって一緒に食事を作ったり食べたり、会話をしながら楽しく交流する場「東川リビング」を開催します。

料理に参加したり、おしゃべりしたり、月に一度、大勢で食卓を囲みませんか?

新しい事業です。毎月1回開催予定。初回は4月27日(木) 10:00～13:00です! 3月24日(金)午前10時より申込受付を開始します!

函館の女性の活躍を応援する新しい取組です!

## はこじょ 函女プロジェクト



H29年

始動!

### 集める ▶ 知る ▶ つながる

函館において様々な分野で活動している女性たちの情報を女性センターの運営するホームページ上に集め、その女性たちの活躍の場が広がるチャンスにつなげる(函館の活性化にもつながる)～それが『函女プロジェクト』です。

趣味、仕事、ボランティア等の区別はなく、美術、音楽、文学、手工芸、運動、芸術文化、伝統文化など分野の制限もなく、作品を発表したい、仲間を集めたい、伝えて行きたい、つながりたいという前向きな函館の女性を募集します! ネット上で活動内容のわかるリンク先を下記アドレスまでお知らせください。簡単な審査をおこない、ある程度数が集まった段階で、分野別に『函女プロジェクト』のページで公開します!

[info@hakodate-josen.com](mailto:info@hakodate-josen.com)

開催月	講座・教室名等	実施予定日・時間・(回数)	対象・定員	受講料等	受付開始日時
8月	料 自立男子の料理教室 家事男(カジオ)の台所①	8月23・30日(水) 18:30～20:30(連続2回)	男性24名	材料費1,200円	7月21日(金) 10:00～
9月	文 函館山の魅力を体感する 山あるき探検隊③	9月2日(土) 10:00～14:00(全1回)	男女20名	無料	8月8日(火) 10:00～
	相 女性の弁護士による 女性のための法律相談	9月6日(水) 14:00～16:00(1人30分)	女性4名	無料	8月3日(木) 10:00～
	料 家族の健康のために からだに優しい料理教室②	9月12日(火) 18:30～20:30(全1回)	男女24名	材料費1,200円	8月4日(金) 10:00～
	料 毎日のお弁当作りのヒントに! 簡単時短!お弁当のおかず	9月13・20日(水) 10:00～12:00(連続2回)	男女24名	材料費700円	8月18日(金) 10:00～

通年 親子のイベント広場 土曜ぷちサロン (10時30分より約1時間) ●第1・3土曜日/絵本の読み聞かせ・紙芝居等(自由参加・無料)未就学児 ●第2土曜日/親子リズム遊び(要申込み・無料)対象1～3歳児と保護者10組 ●第4土曜日/ベビーマッサージ(要申込み・1回200円)対象2ヶ月～1歳未満児と保護者10組

★都合により、日程等の変更が生じる場合がございますので、予めご了承願います。 ※土曜ぷちサロンには託児サービスはありません。

# はこだて男女共同参画フォーラム 2016 小宮山洋子講演会

## 超少子高齢社会～男女が共にいきいきと

元NHK解説委員・アナウンサーであり、厚生労働大臣・少子化担当大臣を歴任された、小宮山洋子さんをお招きし、ご講演いただきました。講演の中から、主な内容をいくつかご紹介いたします。

## 報告

講演会要旨



### ■「超少子高齢社会」とは

WHO(世界保健機関)が定義しているところによると、65歳の人達が人口の21%を越えると「超高齢社会」と言われますが、日本は27.3%で、これは世界で一番です。一方子どもの数は全体の人口の中で12.6%で、少子化率も日本が実は世界で一番ですから、日本は世界一の超少子高齢社会です。

日本は働いている女性の方が子どもを産む数が多く、これは諸外国でも同様です。また、生涯未婚率は更に上がっていきだろうと言われています。本当は結婚したいのに結婚できない、だから子どもが持てないって言う人には、政治、行政、助け合いの中、いろいろな形でサポートしていかなければいけないですし、労働力人口が減っているなかで、益々、男女がいきいきと力を発揮しなければこの国やっていけなくなってしまいます。

### ■社会保障改革と子どもの貧困

社会保障の改革について私が大臣の時に、年金・医療・介護の3本柱に、「子育て」という四本目を入れました。この中で、介護が一番財政的にはきついです。職業として、介護職、保育士は命を預かる仕事でありながら一般の企業と比べるとお給料も低く、福祉職の処遇は良くありません。ですから社会保障の充実や、医療や介護等の維持のために、全額をそれにあてるという消費増税の法案を当時の3党で合意しました。今も職員が足りず、本来の定員数以下でしか入所者の受入れができていない施設があります。消費増税2%の後回しが、介護・保育の充実を先延ばしにしているのが現状です。

また、最近問題になっていることのひとつが子どもの貧困です。日本は子どもの貧困率が16.3%で、これは先進国の中でも高い比率です。しかし社会保障給付費という、皆さんが払った税金や保険料が手元に戻ってくる割合での高齢者対子どもは17対1～19対1と大きく差があります。高齢者ばかりでなく、子どもに対する政策に政治家の目が向くようにぜひ若い人には選挙へ行って欲しいと思います。

### ■家庭の中の男女共同参画

子育て期にある共働きの世帯で見ても、妻の家事・育児時間は4時間15分、一方で夫は30分です。第2子を出産する割合

が高いのは、当然夫の家事・育児時間が長い方で、家事・育児時間を全く夫がしない家庭では、第2子を生む割合は11%しかありません。子育ての楽しみを女性だけではなく、お父さんにも分けてあげましょう。という流れになればいいのになあと思っています。

### ■地域で支え合っていくことが重要

私が定年後に暮らし始めた軽井沢は、古くからその地域に住んでいる男の人中心の社会で、新しい住民との間に壁がある難しいところですが、普通に暮らしている女性たちの声を提言したりして、少しずつ交流を広げています。

子どもを取り巻く問題は様々ありますが、今、この超少子高齢社会で大切なことは、地域の中で「ともに助け合う」、「ともに色々なことをしていく」、「ともに」というのがキーワード。お互いともに生きながら、地域の中で支え合っていくということが、これからますます必要になっていくのではないかなと思っています。

## 「講演会に参加して…」

10月の秋晴れの日の午後、ホテルの会場に200名以上の参加者が待つ中、小宮山洋子さんは登場しました。元NHK解説委員、元厚生労働大臣などの肩書きをお持ちの方。私も緊張感を持ってお迎えしたのですが、そのアナウンサー時代さながらのさわやかな語り口に、一気に緊張はほぐれ、お話しに引き込まれていきました。

超少子高齢社会の現状とは、世界と比べた日本の男女共同参画の推進状況とは。また、社会保障改革における子育て支援の重要性とは等々、詳しいデータをもとに力強くお話しなさる姿に圧倒されました。

最後に現在暮らされている軽井沢での精力的な活動のお話しを伺い、町をより良くして行くためには、政治や行政の力も重要だが、そこに生きる人々が、互いに支え合っていくことこそが重要なのだと感じました。

はこだて男女共同参画フォーラム 2016 実行委員  
若山 弘子



## 「居場所」のない男、 「時間」がない女

著者/水無田 気流  
発行所/日本経済新聞出版社

～「普通の幸せ」は、今なぜこれほどハードルが高いのか？～

女は結婚・出産・育児を全てこなすと時間が足りないうえ、職場では期待され責任も重くなる一方、日本の男は仕事中心で、家族や地域社会との関わりが薄いため、仕事を辞めたとたん孤立化を招きやすいという。

普通の幸せが手に入りにくい本当の理由や生きづらさを、数値やデータ、事例も交えて考察し、共に幸福になるための方法論を提唱する一冊です。



## 働く女子の運命

著者/濱口 桂一郎  
発行所/株式会社 文藝春秋

～男女格差を測る「ジェンダーギャップ指数 2016」で日本は145か国中111位～(205では101位！)

女子の「活躍」を阻んでいるのは、日本型雇用システムだった！?“父親が家族を養う”ことが常識だった時代、結婚や育児の「リスク」を抱える女子は、重要な業務から外されてきました。

本書では当事者たちの肉声を交え、働きづらさの本質を暴く、男性も必読の一冊です。

フォーラム30回記念

はこだて男女共同参画ウィーク



【ウィーク期間：平成28年10月24日(月)～29日(土)】  
 【場 所：女性センター／サン・リフレ函館】

市内で活動している各種団体と市で構成する実行委員会で、市民の男女共同参画意識の啓発を目的に、毎年「はこだて男女共同参画フォーラム」を開催しております。

そのフォーラムが、今回30回を迎えたことから、これを記念し、「はこだて男女共同参画ウィーク」と題して、各種啓発事業を開催いたしましたので、その様子を紹介いたします。

①「防災を男女共同参画の視点で考えよう」(実施団体：函館市女性会議)



近年、大きな災害の経験から、徐々に防災分野での男女共同参画の視点が重要視されてきていることから、「防災を男女共同参画の視点で考えよう」と題して、ワークショップを開催しました。

当日は、避難所運営などで必要となる視点、困難な状況にある人にとって配慮が必要なことなどについて話し合い、最後にグループごとにまとまった意見を発表しました。

年齢も幅広く、男女を交えたグループで、活発な意見交換がされました。

②学生目線での男女共同参画(実施団体：北海道教育大学函館校地域プロジェクト分野研究室)



北海道教育大学函館校生による男女共同参画に関する研究発表を開催しました。

学生目線での男女共同参画に触れただけではなく、日頃若い世代と交流がない年齢層の方々も学生さんたちの考え方などについて積極的に質問するなど、世代間交流の時間ともなりました。

③女性のための「起業」入門編(講師：小春日和 宮川友里氏)



自ら起業経験がある宮川氏に講師をお願いし、起業入門編を開催しました。

ご自身の経験に基づいた起業に関する知識や心構えは、大変説得力のあるお話でした。

《その他》

●カジメンはカッコいい！男の料理教室  
 (講師：栄養士 保坂静子氏)

男性参加型の料理教室で、和気あいあいと楽しい雰囲気を終了いたしました。

●ワーク・ライフ・バランスセミナー

(講師：隣ネクスト・ワークスタイル代表取締役 藤村俊仁氏)  
 自ら育児休業の取得経験のある講師のお話は、経験談を交えた大変説得力があるお話でした。

●パパと手作り 陶芸体験教室

(講師：千代志窠 三浦千代志氏)  
 参加者みなさんが陶芸初体験で、パパもお子さんも真剣に取り組んでいました。

この他にも、蔦屋書店での家庭生活相談、中央図書館やまちづくりセンターでの啓発パネル展などを開催しました。



はこだて男女共同参画フォーラム2017

湯浅誠講演会

社会活動家・法政大学教授

つながりの中で生きる

～貧困から考える男女共同参画～(仮題)

◆日時：平成29年10月29日(日) 午後1:30～3:00(予定)

◆会場：函館湯の川温泉 花びしホテル

※詳細については、決定後、市の広報紙やHPでお知らせいたします。

講師プロフィール

1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。2008年末の年越し派遣村村長を経て、2009年から足掛け3年間に閣府参与に就任。内閣官房社会的包摂推進室長、震災ボランティア連携室長など、政策決定の現場に携わったことで、官民協働とともに、日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。講演内容は、貧困問題にとどまらず、地域活性化や男女共同参画、人権問題などに渡る。



予告

「ハツラツ！サークル」では日頃、女性センターで活動している団体の活動状況などを紹介します。

英会話サークル「ISG」

International Speech Group for Kids

英会話を通しての国際交流と、お母さんたちの子育てを応援するサークルです。小学校で英語を教えているシャーロット先生を講師に招いて、歌ったり、踊ったり、書いたり、会話はオールイングリッシュですが、楽しく英語を学んでいます。また、お母さんたちも仲良しで、様々なイベントを企画して交流を深めています。

現在、転勤などで会員が減って、ちょっと寂しくなったので、みなさん、ぜひ一緒に参加して楽しみませんか？

会員募集中！



ハツラツ！  
サークル

## 相・談・窓・口

配偶者からの暴力、家庭生活、困りごと、悩みごとなど、お気軽にご相談ください。

### 函館市女性センター

●DV・虐待・離婚相談 ●働く女性の悩み相談

火・木曜日 午前10時～午後3時  
水・金曜日 午後6時半～8時半

Tel. 23-4188

### ウィメンズネット函館

月～金曜日 午前10時～午後5時

Tel. 33-2110

### 家庭生活相談（電話および面談）

〔函館家庭生活カウンセラークラブ〕

●女性センター Tel. 23-4188

月・水・金曜日 午前10時～午後3時  
火・木曜日 午後6時半～午後8時半（電話のみ）

●湯川支所 Tel. 57-6161

火曜日 午前10時～午後3時

●亀田支所 Tel. 45-5581

木曜日 午後1時～午後4時

### 函館被害者相談室

水曜日 午前10時～午後3時

Tel. 43-8740

### マザーズ・サポート・ステーション

●妊娠 ●出産・産後 ●子育て

〔函館市子ども未来部母子保健課〕

Tel. 32-1565

月～金曜日 午前8時45分～午後5時半

### 母子・父子自立支援・女性相談室 （函館市配偶者暴力相談支援センター）

〔市役所本庁舎2階〕 Tel. 21-3010

〔亀田支所〕 Tel. 45-5481

月～金曜日 午前8時45分～午後5時半

### 配偶者暴力相談支援センター

〔渡島総合振興局環境生活課〕

Tel. 47-5789

月～金曜日 午前9時～午後5時

### 道立女性相談援助センター

月～金曜日 午前9時～午後5時  
水曜日 午後5時半～午後8時

Tel. 011-666-9955

### 女性の人権ホットライン

〔函館地方務局〕

Tel. 0570-070-810

月～金曜日 午前8時半～午後5時15分

### 北海道警察函館方面本部

●相談センター #9110

●緊急時は（110番）へ

## 函館市男女共同参画苦情処理制度

市の施策等において、男女共同参画の観点から苦情がある場合やセクハラなどの人権侵害に係る相談について、職員が事情をお聞きした上で、状況により弁護士などの苦情処理委員が対応し、問題の解決をめざします。

専用電話

21-3995

●対象：市民、事業者、市内に通勤、通学されている方

●費用：無料

～政策や方針の決定過程に女性の意見を～

## 「函館市女性人材リスト」に登録しませんか？

登録 随時受付中

函館市では、第2次男女共同参画基本計画『はこだて輝きプラン』の中で、各種審議会等委員への女性登用率の目標値を30%と定めています。その取り組みのひとつとして、「函館市女性人材リスト」を作成しています。人材リストに登録して、あなたの経験や知識を市政や地域社会の発展に活かすチャンスを広げてみませんか？

〔活動・登録分野〕 保健・医療・福祉／生活・環境／農林水産業・商業・工業／まちづくり・土木・建設／防災・地域安全／国際交流・観光振興／子育て・教育／人権・男女共同参画／文化・芸術・スポーツ

※詳しい内容は市のホームページでご覧いただけます。

問合せ先 函館市 市民部 市民・男女共同参画課 Tel.21-3470

函館市男女共同参画メールマガジン

毎月1回配信中！

## Hakodate☆かがやきネット

配信をご希望の方は、どうぞ、ご登録ください！

### What？

★どんなメールなの？



女性センターで行われている講座やイベント、職場や家庭での男女共同参画（ワーク・ライフ・バランスなど）のエッセンス、講演会や書籍の紹介、内閣府からのお知らせなど、男性と女性がともにいきいきと暮らすためのお役立ち情報を、誰もが気軽に読める内容にしたものです。

### When？

★いつ届くの？

毎月1回、月末に配信しています。（平成20年10月より開始）

### How？

★登録方法は？



QRコードから簡単アクセス！

●函館市市民部市民・男女共同参画課のホームページから登録できます。

<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014012900355/>

●函館市女性センターのホームページからも登録できます。

<http://www.hakodate-josen.com>

●ケータイからも登録できます。

<http://mobile.mag2.com/mm/0000273240.html>

※このメールマガジンは「まくまく！」を利用して配信しています。

<http://mag2.com/m/0000273240.html> から最新記事をご覧ください。

HAKODATE 男女共同参画情報誌 マイセルフ 2017・春 Vol.57

平成29年3月発行

企画・編集／函館市女性センター

発行／函館市市民部市民・男女共同参画課

〒040-8666 函館市東雲町4番13号

TEL.0138(21)3470 FAX.0138(23)7173

E-mail : danjokyodo@city.hakodate.hokkaido.jp

